

「ボディーコントロール」

で絆を深める

先月号で、「鳴海 治」先生のしつけ教室のご案内を致しましたが、大変反響が大きくワンちゃんの飼い主さん達の「しつけ」に関する関心の高さにEDFスタッフ一同驚いております。

そこで今回は昨年の「しつけ教室」の様子を振り返りながら、11月7日の当日に向けての予習をしてみよう。

・先ずはわが愛犬とのお見合いです、両手で愛犬の頬を優しく支え10秒間見つめあい、お互いの愛情を再確認します。大丈夫ですか？あなたのワンは目をそらしていませんか。

お互いの信頼関係の基本はアイコンタクトです。

・お次は愛犬を抱きしめるボディーコントロールです。小型犬の場合、飼い主さんがお座りして全身でワンちゃんを「ぎゅっ」と抱きしめます。この時、頭と脚をしつかりと保定し、特にワンちゃんの前足が飼い主さんの腕の上にかからないように注意します。



▲悪い例



▲良い例

一度抱きしめたらワンちゃんが暴れたり、嫌がったりしても途中で放さないこと。暴れるワンでも飼い主さんの心臓の音を聞かせるつもりでワンの頭をギュッと飼い主さんの体に密着させると落ち着くことができます。落ち着いてくると緊張していたワンの体から力が抜けてきます。これが飼い主さんのボディーコントロールを受け入れた証拠です。そして、ゆっくりと毛並みに沿ってワンの体をそっと撫でながら静かにほめてあげます。この時にはワンの目の表情が優しくなつていきます。

このようにワンちゃんの体を抱きしめるだけのことですが留意しなければならぬ点がたくさんあります。

例えば、「ワンの体をそっと撫でながら静かにほめる」と書きましたが、「どの位“そっと”」「どの位“静かに”」なのかは、実地で体験してみないと解らないことなのです。私の経験では飼い主さんの多くは撫でるタッチが強くて速すぎる傾向があり、ほめ言葉も声のトーンが高くて、ワンのテンションを逆に高めてしまい、コントロールを困難にしてしまう場合が見受けられます。

「犬のしつけ」に関する様々な書物が出版されていますが、書いてある通りに実行したつもりでも、指示の出し方のちよつとしたタイミングのずれが、ワンにとっては飼い主さんの意図とは違う受け止め方になってしまふ事が良くあります。そのような事も今回「しつけ教室」ワンちゃんと一緒に受講し、実体験をしていただく内容になっていますので是非ご参加ください。きっと「目からうろこの事ばかり」が掛け合いです。特に生後4か月半までのパピーのワンちゃんの飼い主さんは、これから始まるしつけのためにも是非ご参加ください。

愛犬と一緒に楽しんで学びましょう！

鳴海治トレーナーの「愛犬のしつけ方教室」

■ 日時 22年11月7日(日)

午前の部(先着50組限定) 10時～
午後の部(先着50組限定) 13時30分～

■ 場所 郡山市喜久田町

南東北総合卸センターイベントホール

■ 受講料 ワンちゃん1頭に付¥1,000
(ご家族何人でも参加いただけます)

主催: Evergreen Dog Field 代表 森 一彦

住所: 〒963-1130 郡山市熱海町高玉字抜山1-1

TEL・FAX: 024(994)0811

e-mail: staff@edf.jp

url: http://www.edf.jp/

共催 福島県パートナードッグ普及委員会